



群馬県議会議員組織内候補予定者 八木田恭之氏 自治労県本部推薦決定！

やぎたやすゆき



▲来年の県議選に向けて意気込みを語る八木田議員



▲最後は団結ガンバロー

第118回中央執行委員会 春闘の振り返りと次期選挙に向けた支援体制構築へ

県本部は24日（金）、前橋市の前橋問屋センターで第118回中央委員会を開催。県内の28単組より68名（ほか委任状22名）が参集した。太田市職労からは中央委員として小林委員長と河内書記次長の2名が参加し、県本部執行側として山本特別執行委員がそれぞれ参加した。

中央委員会では、まず報告の部として、一般経過報告と中間監査報告を確認。続いて議事の部として、議案第1号から第7号まで提起、審議後すべて承認された。

議案第1号の春闘総括では、自治労の全体的な取組経過と結果、県内全単組からの報告事項等を再確認することで、春闘がすべての戦いのスタートであり、春闘期の統一行動を強化することが必要であることを共有した。また、取り組み結果として安中市職労が3級昇格の1年前倒しを勝ち取ったほ

か、沼田市職労では子の看護休暇を中学3年生まで拡充、中之条町職労でも夏季特別休暇を10月まで取得可能とする等の総括があった。議案第2号では、当面の闘争方針として、10月までの闘争スケジュールや体制の確立と合わせ、政策実現の推進、たたかひの重点事項、組織強化拡大を追求するとした。

議案第5号の「第20回統一自治体選挙における群馬県議会議員選挙の組織内候補予定者の推薦決定について」では『群馬県議会議員 八木田恭之』を含め5人の推薦を県本部として決定。組織の総力を挙げて必勝を目指すとした。議案承認後、各候補者から意気込みが1分以内で語られた。組織内議員である八木田県議は「市と県のつなぎ役として今後も頑張りたい」と県議選に向けての意気込みを語った。

やぎた 恭之

太田市職労組織内議員（群馬県議会議員）

や す ゆ き

